

分別解体等の計画等

変更箇所	建築物の構造		☐ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他()	
	建築物の状況	築年数____年、棟数____棟 その他()		
建築物に関する調査の結果	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約____m その他()		
	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他()		
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☐ 無 前面道路の幅員 約____m 通学路 ☐ 有 ☐ 無 その他()		
	残存物品	☐ 有 ☐ フロン類使用機器 → 1 をチェック 【 ☐ P C B 使用機器 → 2 をチェック 【 ☐ 無 ☐ その他【 】 → 6 に記入		1 ☐ フロン回収・破壊法に従い適正に処置する。 2 ☐ 廃棄物処理法及び P C B 特別措置法に従い適正に処置する。 3 ☐ 石綿撤去済み 4 ☐ 石綿撤去完了予定日(月 日) 5 ☐ 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするが、みなし石綿含有建材として処置する。
	特定建設資材への付着物	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材 等) → 3 又は 4 をチェック【 ☐ 非飛散性石綿 石綿含有不明建材を含む(ビニール床タイル 等) → 3, 4 又は 5 をチェック【 ☐ 無 ☐ その他【 】 → 6 に記入		
	その他 (特定建設資材に付着していない、解体時に発生する有害物質)	☐ 有 ☐ 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材 等) → 3 又は 4 をチェック【 ☐ 非飛散性石綿 石綿含有不明建材を含む(スレート波板、スレートボード、スレート瓦、サイディング、ケイカル板 等) → 3, 4 又は 5 をチェック【 ☐ 無 ☐ その他【 】 → 6 に記入		6 ☐ その他 ()
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容		分別解体等の方法
	建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ☐ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し ☐ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し ☐ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し ☐ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序	その他 ()	その他の取り壊し ☐ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	上の工程における → → → の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()			
建築物に用いられた建設資材の量の見込み	☐ 内装材に木材が含まれる場合 の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☐ 可 ☐ 不可 不可の場合の理由()			
	建築物に用いられた建設資材の量の見込み トン			
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分 (注) 建築設備・内装材等 屋根ふき材 外装材・上部構造部分 基礎・基礎ぐい その他	種類	量の見込み	発生が見込まれる部分(注)
		☐ コンクリート塊	トン	☐ ☐ ☐ ☐
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ☐ ☐ ☐
		☐ 建設発生木材	トン	☐ ☐ ☐ ☐
備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。【 】欄には具体的品目を記入すること。

【改正：平成24年1月1日】